



第99回全国高校サッカー選手権大会出場〔5年ぶり10度目〕(2020年12月)



編集・発行

島根県立大社高等学校内

いなさ会事務局

電話 (0853) 535039番

郵便振替口座 01310-5-18808

「おらのわけときは」

いなさ会会長

北島 建孝^{たけのり}



人と会うと決まってコロナの話をしてしまいます。挨拶代りのようになってしまいました。早く収束してほしいものです。いつの頃からか、十代の頃がとても懐かしく思うようになりました。思い出すことは些細なことです。友人の何気ない一言や、仕草、例えば「かえらい」「ねんたかった」などと言っていたことや、壁にもたれていた姿とか、私の人生になんの影響も与えてくれなかったどうでも良い事ばかりです。

若い頃、大人達と話していると、よく「俺が若い頃は…」「前はまだ若い…」と言われ、辟易していました。「あなた達はいい出話ばかりで何が楽しいの、もっと前向きな話はないの」と、心の中で思っていました。いつの頃からか、周囲の年下

の人達と話をする機会が増え、つい「昔はな…」「俺の若い頃はな…」「あの頃はな…」と口にするようになってしまいました。その都度「何やってんだか」と自分にうんざりしてしまいます。でも未来志向的な話をしようとしても、何となく妄想を語るようで言い淀んでしまいます。勢い、同世代との話が面白く感じてしまいます。同窓会とはそういうことかと、今更ながら理解しました。思い出を共有できる仲間がいることはとても有難いし、嬉しいことです。自己嫌悪になることもあります。

数年前、或るご年配の方とお話をする機会がありました。まだまだお元気で色々な活動を精力的にしておられる立派な方です。その方が「同級生の集まりはつまらない。病氣自慢、思い出話と愚痴ばかり、将来を見据えた話などはほとんどない」と仰っていました。なるほどと思い、自分は気をつけようと思いましたが、しかしそれは違うと思いました。直しました。いくら天下国家や未来を語り、様々なことに貢献したとしても、同年代との会話が楽しめないことはとても淋しいことです。何度も繰り返し同じ話で笑いあえることはとても幸せなことだと思います。

そう言えば、昔の「俺が…」と言っていた人達で、立派に社会貢献をしながら人生を大いに楽しんでいた人も多くいらっしゃいました。

楽しい日々が戻ってくることを心待ちにしています。皆様のご清祥をお祈りします。

かん いくん とう
涵育薫陶

第44代 校長

江角 和生



今春の人事異動により、教育庁人権同和教育課からまいりまして江角和生と申します。どうぞよろしく願います。

この三月、思い立って萩まで出かけてきました。十数年前に、幕末の教育家である吉田松陰を祀った松陰神社も訪れてみましたが、そこで出会ったのが松陰語録の碑。この文章のタイトル「涵育薫陶」の言葉も、そこにあったものです。

出典は「孟子」にある「養とは涵育薫陶して其の自ら化するをまつ」という一節。松陰は、この一文について、次のように説明しています。「涵は水にひたすこと」「育は小児に乳を与えて育むこと」「薫は香を炊きこめること」「陶は土器をかまどで焼き堅めること」。人を「養う」とは、水であり母乳であり香でありかまどである。

学ぶ者が浸る水とは、学びに誘ったり、安心して学べたりする環境を指すのでしょうか。学ぶものを育てる乳とは、知識・技能であり、その定着を図るためのわかりやすさや学びやすさにあたると思います。また、炊きこめる香とは、示唆や啓発につながる問い立て、探究心や向上

心をかきたてる仕掛けでしょう。そして、焼き固めるかまどとは、身につけた力を生かす力を育てるための思考の場、体験の場のことであると思います。

言い換えれば、教育とは、成長できる環境を整えたいうえで、その人が自ら成長するのをじつくりと待つことである。松陰はそのように考えているようです。『育てる』のではなく、『育つ』を待つ、ということ。わずかなようで、この違いはかなり大きな違いです。

以前聞いた、ある町の教育長さんのつぶやきを思い出します。『近頃の教員は（子どもを）待てなくなつた。』かみ砕いて説明すると、こういうことです。最近の教員は、子どもたちが問題に直面すると、「指導」の名のもと、先回りして動いてしまふ。そのせいで、子どもたち自身に問題を解決する力が育たないのだ。この教育長さんの思いは、そういうことでした。ご自身も元小学校教員だった立場から、まじめで一生懸命な先生ほどその傾向が強いことを憂いてのつぶやきだったと思います。

ICTの活用など、学校をめぐる状況は急激に変化しつつありますが、変わるべきではないこともある。それは、子どもたちにとって学校が「涵育薫陶」の場であることです。

今、いちばん変わらなことを求められているのは、私たち教職員。「涵育薫陶」の原点に立ち返り、大社高校が尊き学びの舎であり続けることを守っていきなことを思っています。

東京五輪に寄せて

暁の超特急

みくが
彌久賀神社宮司

春日 貴 紘氏
(吉岡隆徳氏甥)

暁の超特急と称された吉岡隆徳は湖陵町の出身で、町内の公園にはブロンズ像が建立されているが、この度の東京五輪開催を機に記念碑を作ることになった。全国から寄付が集まり、昨夏国道九号線沿の生誕地である彌久賀神社前に建立できた。

隆徳は明治四十二年六月湖陵町大池、彌久賀神社宮司家の十人兄弟の末子として生まれた。幼少時より足が速く、尋常小学校三年生の時、地元青年団運動会に了承を得てリレーのアンカーとして出場した。ジャリ



ロサンゼルス五輪入賞



建立された記念碑

道を裸足で大人達をこぼう抜きにする走りで優勝し、周囲を驚嘆させた。このことは本人にとっては大きな自信になったようだ。又、学校で立たされた時など、座らなければ良いだろうと、運動場を走っていたと聞く。当時は昼飯を家で摂っていたのだが、一キロ強離れた家迄走って往復し、学校に帰り着いても、なお校庭を走っていたという。そんなことから「馬」とあだ名されていた。小学校卒業後、姉の嫁ぎ先である、斐川町の春日神社吉岡壽保宮司夫妻の養子となり、斐川町の農業学校へ入学したが嫌で辞め、改めて一年後に杵築中学校(現大社高校)に入学した。在学中は多くの大会に出場し、周知されるようになった為、上級生より妬まれ、帰路一文橋付近で待ち伏せされたが、いつも捕まることなく逃げ帰ったと聞く。やがて松江師範学校へ進み、県を代表する選手に成長した。柔道でも三段の選手であったが、「柔道だけがをすれば陸上を続けるのは無理」と校長先生に言われ、以後陸上に専念する。一九三二年のロサンゼルス五輪で東洋人初の百米六位に入賞、一九三五年に十秒三の世界タイ記録を達成した。

隆徳は平素から五輪で自分の記録を破る選手の出現を願っていた。本年の東京五輪では八六年ぶりに百米で入賞する選手が生まれることをさぞや期待していることと思う。

令和3年度いなさ会総会は開催 懇親会は昨年に続き中止

皆様ご承知の如く、昨年度のいなさ会総会・懇親会は新型コロナウイルスの感染が拡大している状況に鑑みて中止とさせていただきます。

今年度の扱いにつきまして、四月十日(土)の周年期引継会と、続く二十三日(金)の会長・副会長会議で協議させていただきました。以下のように決定しましたので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

一、令和三年度いなさ会総会・新型コロナウイルス感染防止対策を万全に行った上で例年通り、八月十三日(金)十時より有朋館にて開催いたします。

記念講演は左欄にご紹介しています高校33期の岸幹人さんに行っていただき、新しい試みとしてZOOMを使ったインターネットによる講演の配信を行います。詳しくは後に本校のホームページでお知らせすると共に、各支部支部長の皆様に連絡申し上げます。ぜひご覧ください。

二、令和三年度いなさ会懇親会飲食を伴いますので、新型コロナウイルス感染防止の観点から残念ながら中止とさせていただきます。今年度合同で幹事を担当いただくことが予定されていました高校42期と43期の皆様

のお世話も中止とし、来年度以降に持ち越さないことにいたしました。

三、周年記念寄付
令和三年度の周年記念寄付につきましては、卒業40周年の高校33期、卒業30周年の高校42期及び43期、卒業20周年の高校52期及び53期の皆さんに行ってください。

ワクチンの接種が急速に進められており、やがてコロナ騒ぎも収まって来年度は総会・懇親会が開催できるものと期待いたしております。皆様のご健勝ご多幸を心からお祈り申し上げます。

ご案内

●いなさ会ホームページ

大社高校のホームページの中にいなさ会のページがあり、各種ご報告や案内をしていますのでご覧ください。アドレスは<http://www.taishad.jp/>です。

支部総会・同期会などのご案内もしています。いなさ会事務局までメールでご連絡ください。taisha-inasa@goenet.ne.jpです。

●住所変更

本紙を正確にお届けするため、住所等に変更がございましたら左記までがきにてご連絡いただきますようお願いいたします。

〒699-0722

出雲市大社町北荒木1473
大社高校いなさ会事務局

講師紹介

と 人 氏
幹 人 氏
(高校33期)

演 題
「コロナ禍だからこそ
ボランティア」



プロフィール

1962年11月5日生まれ。島根県出雲市大津町出身。九州産業大学大学院芸術研究科修了後、青年海外協力隊としてアフリカ、タンザニア連合共和国に3年、ヨーロッパ、ポーランド共和国に2年派遣。その後出雲に帰省し2005年より出雲市総合ボランティアセンターに勤務、現在に至る。
現住所：出雲市大津町
その他：出雲市総合ボランティアセンター運営委員会 委員長
島根県青年海外協力協会 会員
日本ボランティアコーディネーター協会 会員



周年記念に 寄せて

卒業40周年

33期生 松本健志

島根の美術振興

島根の美術振興に多大な貢献をされたお二方の紹介をいたします。

お一人目は彫刻家の故荒木文夫様（高校3期卒）。

社会人二年目の昭和三十五年に白土会（県展委嘱団体「島根彫刻会」の母体）創立に参加。長きにわたって島根彫刻会の会長として会員相互の研修会をはじめ、中・高生対象の講習会を社高にでも開催。後進の育成に貢献されました。常に新し



校地内いこいの広場
荒木氏作「青春の像」

お二方の美術振興へのご尽力には、郷土への想いの深さに頭が下がるばかりです。本稿は私が仰ぎ見るお二人のご功績の、ほんの一端にすぎませんが、今回の誌面をお借りして及ばずながらご紹介させていただきます。



いわみ文化振興センター（一般社団法人）

卒業30周年

43期生 周藤 紀之

繋がり感謝

あれからもう十年が経ったのかと、月日の経つ速さを改めて感じております。十年前の卒業記念事業では、在学中は一度も話すことがなかった同級生とも知り合えたり、卒業してから連絡をとっていなかった友人と初めて連絡をとったりと、準備に戸惑いながらも多くの同級生の力を借りることができました。

私自身、普段から私的に交流があるのは大社高校の同級生がほとんどです。コロナ禍となるまでは、級友とは不定期に集

卒業20周年

53期生 山崎 誠也

早いもので母校大社高校を卒業してから二十年が経ちました。私事ですが島根県内の公立高校で勤務していることもあり、大社高校生の文武にわたる活躍は速報に近い形で頻繁に見聞きしています。そのたびに後輩たちの活躍を誇りに思い、その活躍の背景にある、いなさかいや地域の保護者の方々の支援に感謝し、指導していただいている先生方の尽力に感謝し、何よりも母校大社高校の団結力と伝統の力を感じています。

私は職業柄よく自分の高校時代を思い出します。学園祭でクラスメートと協力してクラス出し物をしたこと、いなさかい館でバンド演奏をしたこと、体育祭で作成したデコレーションがデ

まつたり、部活動の仲間が集まる機会があったりと、懐かしい顔ぶれで近況報告や思い出話などで笑いあっては元気をもらっていました。中には私とは普段は連絡を取らない同級生と会う機会もあり、その時声をかけてくれた友人に感謝しています。今は大勢で集まるのが難しくなっていますが、再び集まれる日が来るのを楽しみにしています。

さて、改めて思えば大社高校を通じて多くの出会いがあり、縁あって現在も同級生をはじめ多くの卒業生の方々とも繋がっています。今回も周年記念事業を行うにあたり、多くの同級生に力を借りることとなり、また、先輩方にもアドバイスをいただき

この部一位を獲得したこと、浜山球場へ野球部の応援に行ったことなど、どれもよい思い出として残っています。また、有朋館の二階で夕方まで学習した帰り道に自転車をごきながら見る夕日が、いつも橙色で眩しかったことも脳裏に焼き付いています。受験指導では私たちの進路実現に向けて、担任・副担任の先



盛り上がった体育祭の様子



幹事打合せ（2021年4月）

いています。残念ながら全体での同窓会開催は断念しましたが、この機会に同級生同士の新たな繋がりが広がることに、私たちの出会いと思いの場となつた母校のために少しでもお役に立てればと思っています。

生方をはじめ多くの先生方に朝早くから夜遅くまで熱心に指導していただきました。当時は一学年十クラスありましたが、全員の指導をするのに大変苦労されたのではないかと推察します。大変お世話になりました。

現在はコロナ禍ということもあり先行き不透明で不安な時代ですが、このような時代だからこそ大社高校に繋いでいただいた人と人との縁を大切にしながら、手をとりあって生活していかなければならないのではないかと思います。大社高校の校訓に「自主自立・敬愛互助・創造発展」とあります。これは大社高校を巣立った私たちの今あるべき姿勢を示している気がします。

追伸…53期生のLINEグループを作成しました。未登録の方はぜひご連絡ください。○九〇―四一四八―一九六〇（山崎）

協賛金のお礼とお願い

例年協賛金をお送りいただき、まことにありがとうございます。

皆様のお志に厚くお礼申し上げます。

本会報は皆様方からお寄せいただいている協賛金のみを運営の資金と致しております。しかし、年々協賛金が減少しており、大変厳しい状況にあります。

本会の発展に寄与する本紙発行に、益々のご理解とご協力をお願い申し上げます。

郵便振替用紙を同封致しておりますので、一口千円から協賛金をお払い込みくださるようお願い申し上げます。

寄付金の御礼



「令和2年度いなさかい周年記念寄付金」につきまして、高校32期の皆様より多額のご寄付を賜りました。厚くお礼申し上げます。

寄付金は有朋館の管理費、弓道場敷地費用等に有効に使わせていただきます。

母校のため、快くご寄付いただきました皆様に心より感謝申し上げます。

支部だより



東京いなさ会

会長 岩成進吉
(高校26期)

この一年はCOVID-19のパンデミックにより、新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言が令和二年四月七日に発令され、社会活動に自粛を求められ、生活が大きく変化しました。東京いなさ会の活動も令和二年十月二十四日(土)に予定していた第六十五回(令和二年度)

東京いなさ会総会は中止となりました。

令和二年十一月七日、うれしい連絡が入りました。サッカー部が第九十九回全国高校サッカー選手権本大会への出場を決めてくれました。令和三年一月二日の対堀越(東京A)戦には多くの会員が駒沢競技場へ足を運び、マスク越しに声援を送りました。残念ながらPK戦で敗退となりましたが、試合内容から第一〇〇回大会出場の期待が高まりました。



第99回全国高校サッカー選手権大会 大社×堀越戦 応援に行きました。

現状では令和三年度東京いなさ会総会を開催できるかわかりませんが、状況が許されるならば是非開催したいと考えています。(令和三年七月末までには決定報告します)その際は、同窓生をお誘いあわせての参加をお待ちしています。都合が合えば他地域のいなさ会会員の方も是非参加ください。

●連絡先 事務局

安達久文(高校30期)
電話 〇九〇一三〇六六
一六四三六

中部いなさ会

会長 草谷八郎
(高校13期)

昨年(令和二年度)は例年通り中部いなさ会総会を開催するつもりで、会場の仮押さえまでしましたが、ご存知のように中部地区もコロナ禍に見舞われ中止せざるを得ない状況になりました。幹事会も開けない状況の中、何とか会報を作り、会員の皆様にお届けできたことが唯一の活動でした。その後も当会は休眠状態が続いており、今後も感染力の強い変異株が猛威を振るいそうです。秋口までにワク

近畿いなさ会

会長 大隅弘道
(高校14期)

昨年、九十回総会を開く予定をしておりましたが、コロナ騒動が収まらず断念を致しました。その後役員会も開かれず、会としての活動は皆無となつてしまいました。

今後の活動につきましても大阪も非常事態宣言が続く中、自粛生活を余儀なくされている状態です。今後変異株がどうなっていくか、ワクチン接種の進み方がどうなるか、全く予想が立ちません。今年度の開催も十一月二十八日に予定をしておりますが、最終確認を九月中旬にはしたいと思っておりますので、開催の暁には是非ご参加頂くようお願い致します。この間に残念ながら現在の近

チンの接種も進み、オリンピックも開催され、日常の生活を取り戻せたら……と期待をしております。八月末ごろまでに判断をして改めてご案内いたします。

新規会員を増やしたい!この願いは幹事一同の共通の思いですが、現在、中部いなさ会の会員名簿には、百七十六名の会員が登録されています。その中で一番若い人は高校57期卒業です。十六年前から一人も増えていないことになりました。

中部いなさ会は故郷を共有する人の集まりで、気兼ねなく出雲弁が話せるオアシスです。このコロナ禍の中、ストレス解消にぜひ総会に顔を見せてくだ

さい。

京滋いなさ会

会長 別所親房
(高校15期)

昨年の京滋いなさ会は新型コロナウイルス禍のため中止したので、今年こそはと、いなさ会で初めてズーム会議を導入し、入念な準備の上、四月十日に開催して四十六名の参加者がありました。第一部では、北島いなさ会会長、和田副会長、江角校長、長



祈願 甲子園大会出場
1961年 甲子園大会出場時に活躍した
応援旗が待っています

畿いなさ会の礎を築かれた元会長の川上雅弘さん(高校4期)、最長老で顧問の鬼村昌男さん(高校2期)、ホームページの作成にご尽力を頂いた酒井良孝さん(高校20期)がお亡くなりになりました。ご冥福をお祈りすると共に、先輩の志を後世に引き継ぐためにも、会員増強を目指す所存です。

新会員勧誘の件ですが、過去に色々試みた事が功を奏していない状態です。今後とも会員確保、増強に今まで行なってきた地道な活動を継続していきたいと思っております。今年、京滋いなさ会でズームによるオンライン会合を開催されて若い世代の確保に成功されましたが、これは見習うべき事だと思います。更に新しい目線です。活動するためには若い方の知恵を借りながら、ライン等を駆使して増強に努めたいと思っています。



ズーム会議での乾杯

●連絡先 事務局 石川百合子(高校38期) 電話 〇九〇一八四八四一七九六三

●連絡先 事務局 山崎素文(高校21期) 電話(〇七八)九二五一七五七〇

●場所 ホテルグランヴィア大阪 20階

●日時 十一月二十八日(日) 十一時

米子いなさ会

会長 石部裕一

(高校13期)

令和二年はコロナ禍の影響を受けて、残念ながら五十八回まで続いた米子いなさ会の総会・懇親会と秋の親睦旅行は中止となりました。令和三年度も中止と決めましたが、一〇〇年に一度の疫病の蔓延防止のためにはやむを得ません。改めて設立基盤の弱い会の運営の危うさを痛感しました。

今回は写真で最近数年の親睦旅行を振り返り、米子いなさ会への新参加者を募集します。



水木しげると米子いなさ会の妖怪たち

「いなさかい」をお読みの皆様！米子いなさ会は、鳥取県西部(米子市、境港市など)と安来市にお住まいの皆様の親睦と情報交換ができる楽しい会を目指しています。気軽にご連絡下さい。

●連絡先

■会長…石部裕一(高校13期)
isinibey@ezweb.ne.jp
〇九〇一八二四五〇三三

又は

■事務局(北井)

yusakuk@ezweb.ne.jp

〇九〇一三四四四一三五四三

又は

■LINE「米子いなさ会」

県庁いなさ会

副会長 大國博史

(高校32期)

昨年度は、県庁いなさ会もコロナ禍の影響で、総会の開催を見送りました。そのため、役員改選もできず、馬庭会長が三月に県を退職されたため、会長不在の状況です。

県庁いなさ会は、本庁及び地方機関で県政に携わる職員約百五十名で組織しており、毎年、神在月の旧暦十月頃に総会を開催し、母校への思いを絆に、旧交を温めたり、情報交換を行う貴重な場となっています。

業務上の様々な場面で、初対面の人でも、いなさ会員であることがわかると、急に親近感を覚え、その後は調整ごとく何となくスムーズにいったりします。県では、現在、引き続き新型



令和元年に国の登録文化財に登録された島根県庁本庁舎(S34建設)

コロナ感染症対策に全力で取り組むとともに、人口減少に打ち勝ち、笑顔で暮らせる島根をつくるための総合戦略(島根創生計画)を県民の皆様と一丸となって推し進めています。

今後とも、母校を思い、母校を支えることのできる会となるよう、今年こそ総会が開催できることを祈るばかりです。

●連絡先 事務局 神田 貢
(高校45期) 電話(〇八五二)二二一五三四八

松江いなさ会

会長 江口博晴

(高校10期)

昨年は、総会・懇親会は六月を十月に延期し、開催出来なかつたこととぎりぎりまで模索しましたが、結局参加者の安全を考慮して取止め。残念無念。コロナに振り回されました。

今年は、一応十月三十日に「オンラインポーむらくも」で開催の予定です。記念講演は、コロナ禍の折、感染症も含めて松江の医学史を研究されている梶谷光弘氏(いづも財団事務局次長)にお願いしています。会報は八月下旬の発行を目指し編集中です。取止めの苦渋の決断に追い込まれると空しさがありますが、明けぬ夜はないはずと、一昨年の懇親会の写真を見ながら気持ちを整えています。

今年度から新しく五名の方が役員就任を快諾して下さいました。心強いかがり、明るい話題です。これを機に参加者が増えると幸いです。アフターコロナには明媚な風



フレー～フレー～ た・い・しゃ～

光を持つ心やすらぐ水の都松江へ、皆様ぜひお越し下さい。

●連絡先 事務局 糸賀耕一
(高校19期) 電話(〇八五二)二四一五一九四

広島いなさ会

会長 内藤秀夫

(高校14期)

広島いなさ会は、昨年度の総会を新型コロナウイルス感染症のため開催を見合わせました。

現在は、ワクチン接種が進む状況となりましたが、未だに役員会の開催もできない状況です。今年度の総会も残念ながら開催中止といたします。

ここ一年を振り返りますと、繰り返されます非常事態宣言と、ウイルス持ち込みリスクを避けるため帰省もなかなか出来ず、知人とも会う機会も少ない状況が続く、人との交流が少なく、疎遠になっていきますが、「縁」のもと先々楽しい時間が来ることを願っています。次期総会は、状況が好転する

と信じ、例年どおり初夏に開催したいと考えています。

最後になりましたが、医療従事者の方をはじめ感染症対策に尽力されている方に敬意を表すと共に、経済活動、生活等様々な環境の変化がある方も多いと思いますが、ご自愛いただき、元気なお姿と笑顔で再会できますことを楽しみにしています。

なお、近況報告や新規会員情報など何かございましたら事務局までご一報下さい。

●連絡先 事務局 岸 利一
(高校30期) 電話(〇八二)二二三一五六〇四



内藤会長「再会を楽しみにしています」

斐川いなさ会

会長 山崎文夫

(高校20期)

新型コロナウイルスの猛威は当初の予測を遥かに上回って実に厄介な物になりましたね。

旧知の九矢氏からズームで京滋いなさ会に参加するようにと要請があった。急いで用意をする事にしたが、なにしろ初体験。何とかテストズームは成功したが不安。いよいよ当日、皆さん

もやはり緊張の様子。ところが別所会長の優しい声が、周囲の空気を見事に和らげた。そして全体をとっても良い雰囲気を作り変えた。

順調に進行して、「一人一言」という事になり、思案していると、なんと懐かしい声と顔が。五十年ぶりだ。今思えば無謀と思える大月市辺りから大菩薩峠・奥多摩への一泊縦走。もう断片しか記憶に残っていないが、確かにきつかった。その相棒の錦織(内藤)隆氏(高校19期)がそこにおられた。懐しかった。ほんの少しの会話だったが、私にとってはもうそれで十分。大成功のズーム総会でした。誘って頂いた京滋いなさ会に大感謝。

「斐川いなさ会」の報告が、すっかり「京滋いなさ会」になってしまいました。今のところ斐川会は未定ですがワクチン効果が現れれば、考えようかと思っ下さい。

●連絡先 事務局 小山峰明
(高校29期) 電話(〇八五三)七二一二六三三



コロナ禍でも、田植えはいつものように出来ました

会員だより

卒業六十二年目にあたって

岡垣 克則氏(高校11期)

光陰矢の如し、一週間が一日の如くに感じられる毎日ですが、会員の皆様にはいかがお過ごしですか。昨今は、新型コロナウイルスが大変猛威を振るって油断できません。

昭和三十四(一九五九)年に卒業して早六十二年。高校時代で思い出しますのは、二年、三年のクラス対抗戦で議論を戦わした討論会です。最終戦の三年との討論で敗れましたが、八十歳の今になっても思い出すはらはらした行事でした。それと三年のときに六十周年記念式典が行われたことです。振り返れば旧制大社中学が明治三十一(一八九八)年に創立されて今



東京いずもふるさと会
総会での挨拶

も個々人の得意を生かした選択をしてほしいです。医者になりたい、公務員、スポーツ選手、研究者、企業で働きたい、弁護士、税理士、開業したいなどの希望に応じてきめ細か

な進路指導が必要でしょう。また、全国の先輩たちから年何回か在校生が経験談を聞く会を設けてはいかがでしょうか。母校先輩との交流が大事だと思います。

ふるさと大社は帰るたびに町がきれいになり、神門通りや勢溜りが若い女性たちであふれかえっているのを見ると、静かだった子どものころを懐かしく思い出したりしますが、これも全国に名高い出雲大社の縁結び信仰の賜物と喜んでいきます。

東京には「東京いずもふるさと会」(ネット参照)があり、出雲出身者が年に一度集まったり、郷里をしのびながら集う会を楽しんでいます。大社出身者だけでも百人近くいますし、ふるさと会全体で五百人弱いますので是非出雲出身の方は参加してみてください。

特筆すべきこととして、ふるさと会の企画でこの十年来「DNAによる出雲人のルーツ」(日本人のルーツ)探しを国立遺伝学研究所に依頼して解析していただいています。今までのところ出雲人が縄文系で、東北人や枕崎人(鹿児島県)に近いという中間報告が出ています。国家プロジェクトの一環にも取り上げられて来年中に結論が出る予定です。

令和三(二〇二一)年五月十二日
日記す

「言葉の遺伝子」と

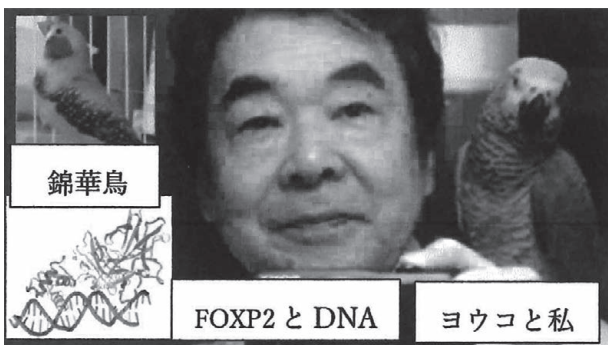
脳神経科学

(七転八起の「老人と脳」)

別所 親房氏(高校15期)

大社高校を卒業して六十年近く経ちました。高校時代、沢山の思い出の中で、特に体育祭の騎馬戦や友人と自転車に測定器をのせて大社の水質調査をしたことが印象深いです。

さて、二十一世紀は「脳の世紀」といわれ、宇宙、物質、生命とともに、脳と心は科学の最後のフロンティアになっていきます。脳神経科学では、脳を「知る」・「治す」・「作る」・「育てる」をスローガンに、記憶の仕組、脳の病気・再生、人工知能の研究が盛んに行なわれています。



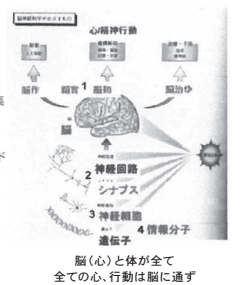
私は三十年来の記憶・学習、音声研究の総仕上げをするために、京都府立医大・生体構造科学研究室で、ニワトリヒヨコの発声と「言語たんぱく質」FoxP2の関係を研究しています。FoxP2は遺伝的に言語障害のある英国のKE家族のDNA解析から同定された遺伝子で、その塩基配列は現旧人類、動物でよく保存され、そのたんぱく質は主に脳で発現する転写調節因子で、発声・発生・神経伸長に関係しています。脳は沢山の神経細胞がシナプスを介して繋がり、電気活動と化学伝達して心と行動を産出します。ヒトの言語活動は、脳画像法を用いて、発話と文法はブローカー野で、単語と意味はウエニッケル野で可視化されますが、神経活動、遺伝子発現の解析は不可能です。この解析に適したモデルとして、キンカチヨウが選ばれました。この鳥は小型で飼いやすく、雄はヒトの様に音声模倣学習し、臨界期があり、学習と発声に関わる神経回路が簡単に同定できてFoxP2の機能が

分かってきました。雄が歌った後の前脳X野でのFoxP2の発現は、歌わない時に比べて減少する、X野でFoxP2を作れなくする(ノックダウンKD)と、模倣音節の順序が変わる等です。超音波で生得的発声するマウスの赤子は、親から隔離されると鳴くが、FoxP2遺伝子を除く(ノックアウトKO)と鳴かない。KOマウスにヒトFoxP2を組み込んでもヒトの様に喋らなかつた。動物がヒトの様に話すには、FoxP2以外にX遺伝子と特別な脳構造が必要です。

私は九官鳥の声真似と娘の言語習得の類似性に興奮して分子神経科学の花形Stanford大学R.Scheller 研に留学した体験を生かし、ヒヨコ脳にX遺伝子を注入し、ヒト語を話すドナルド・チックを作ってヒトの言葉の謎を解き、ソロモン王の様に鳥との会話を夢んでいます。

21世紀の新しい科学 脳・神経科学

- 0). 究極の目標
心を総合科学的に解明
- 1). 脳を知る(脳知)
トップダウン: イメージング
ボトムアップ: 分子神経生物学 ゲノム編集 光遺伝学
- 2). 脳を治す(脳治ゆ)
神経再生、新生、ES、iPS、脳オルガノイド
- 3). 脳を作る(脳作)
人工知能、サイボーグ
- 4). 脳を育てる(脳育)
教育⇒学習⇒脳育



鹿城が丘の記憶、 そして『今』

千家 和比古氏（高校21期）

宇迦橋北詰から西に向う道を
通ると、大社中学の校庭南の
フェンスが目に入る。そこに、
旧大社高校往時の野球部グラ
ドフェンスの残像が重なる。

当時、野球部は練習中の水補
給が法度。フェンス裏に先輩
用の水薬缶を準備したり、フェ
ンス越えの球拾いを饒俣に畑
の井戸水を必死に飲んだなど
『フェンス裏』の物語りが甦る。
そしてグラウンド内では、今に生
きる人の繋がりが与えられた。

時折、大学・高校の部活動で、
人の繋がりを破断する事件が報
じられる。上級生になった時、
東京六大学のある大学のエース
で優勝もされた先輩から「もう、
そういう時代ではないから」と
教えられたことがあった。部活
事件の報道に接すると、あれか
ら半世紀も経つのに、先輩の
言葉を想い出す。

残念にも帰幽されたが、今で
もその先輩の大学での後輩の人
に会うと、「あの人ほど下級生
に慕われていた人はなく、他の
先輩方とは全く違っていた」と
話され、人の繋がりの温かさを
いつも感じさせられている。

さて時は今、コロナで揺れる
社会がすでに一年を超えた。昨
春、全国に緊急事態宣言が発せ
られ、出雲大社の境内も、神門
通りもひっそりとした日が続い
た。以来、様々なコロナ対策の
中での『通常』が失われた日々
が今も続いている。

渦中、様々な謳い文句が発信
され、世間を席捲したのが「ソー
シャルディスタンス」、「三密」
など。情報氾濫の不消化に世情
は浮足立ち、「近づくな離れろ」
「他人を見たらコロナと思え」
など繋がりを寸断
する空気が醸成さ
れ、今また東京五
輪を巡って疑心暗
鬼に拍車がかかる。
何事も油断は禁
物だが、物理的な
距離の離しが『ク
シャミ』をする
心配するところか
キッと睨みつけ
る『心理的な距離
の離しを惹起もし
ている。

昨春の宣言の最
中、知人の看護師

さんがコロナ病棟配属になった。
当時は看護師さんへの差別的な
風当たりが強く、知人は「感謝
してとは言わないけど、考える
よね」とポツリ。だが、「でも
じゃ、誰が看護をするの」と、
患者に寄り添い温かく繋がるう
とその現場に。心無い世情に心
傷つきながらも、現場対応の
方々の思いには頭が下がる。

今も心無い情報を耳にするが、
出雲大社境内には、疫病に対応
する人々への感謝を表す幟を各
所に掲げ続けている。

コロナで失われたものは多
い。他方で、新しく生まれた気
づきや繋がりのある。人の繋が
りを喪失した先にあるのは、『孤
立・孤独』が齎す深刻な社会問
題。鹿城が丘で生まれた繋がりは、
生涯の大切な宝物である。



境内に掲げられた感謝の幟：拝殿前

神社とジンジャーで 地域を元気に

南 未紀氏（高校52期）

私たち家族は、出雲市斐川町
の神立地域にある万九千神社の
おそばで、生姜の栽培をし、「出
雲生姜」というブランド名で販
売しています。万九千神社は、
旧暦十月神在祭に際し、全国か
ら出雲へと参集された八百万神
が、最後にお立ち寄りになると
の神話を今に伝えていきます。

私たちは、免疫力
向上に生姜が効く
という口コミがあ
り、手軽に摂取
できるしょうがシ
ロップの需要が増
えています。大手
コーヒーチェーン
のタリーズコー
ヒーさんでは、全
国規模の店舗でプ
ライベートブラ
ンド商品として出
雲生姜シロップを
販売いただいてい
ます。身体を温め
る効果があると言
われている生姜は、

冬だけではなく、エアコンで身
体が冷える夏も夏バテ防止にお
すすめです。山陰地方のタリー
ズコーヒー店舗では、店内でシ
ロップの炭酸割り（ジンジャー
エール）として飲むことができ
ます。また、大社の就労支援施
設さんと連携して商品開発した
生姜のお砂糖漬けは、女性ファ
ンが多く、いつでも簡単に生姜
が食べられると人気商品になっ
ています。万九千神社参拝の際
は、近くの出雲生姜屋（神立売
店）を覗いてみてもらえると嬉
しいです。

出雲生姜は、農業
を使わず手作業で草抜きや虫取
りなどの日々の栽培管理をして、
大切に育てています。収穫した
生姜は青果だけでなく、じん
じゃエールやしょうがシロップ
などの加工品として、県内外で
販売いただいております。出雲
市内のうどん屋さん、お蕎麦屋
さんの卓上に置いてある生姜入
り七味唐辛子を見られた方もお
られるかと思います。

万九千神社では、撤下品とし



万九千神社を望む生姜畑にて



進路状況

1. 進学状況

(合格延べ数・過年度卒業生を含む)

		30年度	元年度	2年度
大学	国公立	79	63	71
	私立	252	243	230
短大	公立	8	9	24
	私立	15	19	12
高専		36	37	23
専門・各種 (高専を除く)		25	31	38
合計		415	402	398

2. 就職状況

	30年度	元年度	2年度
公務員	10	5	5
民間事業所	6	8	9
計	16	13	14

今春の入試において、本校の国公立大学の合格者は現役・既卒生あわせて71名でした。新しく導入された大学入学共通テストの実施、近年の私立の定員厳格化等、厳しい条件下での受験となりましたが、生徒達は最後まで粘り強く努力してくれました。国公立大学全体の概況としては、昨年同様に島根大学、島根県立大学の合格者が最も多く、近年の地元志向の高まりを反映したものと言えますが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響も否定できません。また、例年に比べて公立大の合格が増えているのが特徴です。これは令和2年度の三年生が五教科七科目型の受験だけでなく、公立大の受験によくある、いわゆるアラカルト型の受験に向かうケースが多かったためです。

一方、私立大学の入試は、前述した定員厳格化によりやや難化傾向にありましたが、ほぼ昨年並の合格を得ることができました。

令和2年度も放課後や休日にたくさんさんの生徒が有朋館で学習に励んでいました。今後も有朋館を有効に活用しながら、生徒のために充実した学習環境を整えていきたいと考えています。

また短大については島根県立大短大部の合格が例年より大幅に増えました。

専門学校合格者もほぼ昨年度同様でしたが、高専は受験先を精選し、県内中心の受験が多かったこともあり、合格数自体はやや減少しました。

就職状況は、公務員が警察官、出雲市職員、自衛官で、民間就職については、コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて、選考日が延期されるという大きな変更もありましたが、近年高校への求人数が安定していることもあり、大きな混乱もなくほぼ希望どおりの事業所に就職できました。

これからの生徒達は新しい教育課程の下、キャリアパスポートという自己の活動履歴を残し、その学びの成果をまとめなければなりません。自ら課題を設定しその解決のために他者と協力しながら物事を進めていく能力や、柔軟な思考力と表現力がますます求められるようになっていきます。

県高校総体4連覇(4大会連続10回目)

昨年度の県総体は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止となったが、今年度は感染症対策を実施しながら、2年ぶりの開催となった。各種目の大会会場には入場制限が設けられたり、無観客であったりしたため、例年と異なる雰囲気の中での大会であった。そのような状況で

も、各部が健闘し、大社高校は4大会連続10回目となる男女総合優勝を果たした。

種目別の獲得得点をみると、陸上競技(男女)、体操競技(女子)、剣道(男女)、弓道(男子)、バスケット(男子)、バレー(女子)、ソフトボール、サッカー、硬式テニス(男子)、ソフトテ

ニス(女子)が得点を獲得している。部活動別でみると陸上競技(男女)、剣道(男女)、体操競技(女子)が優勝、バレー(女子)、ソフトテニス(女子)、サッカーが2位、ソフトボールが3位、弓道(男子)が4位、バスケット(男子)が5位、硬式テニス(男子)が8位となっている。

今年度の全国総体は、北信越(福井・新潟・富山・石川・長野)、和歌山で開催される。出場を決めた部活動には、大社高校と島根県代表としての誇りを持ち、上位入賞や全国制覇を目指して頑張ってもらいたい。

2位の松江南高校との差は僅差であったため、得点を獲得した部活動が、得点の大小にかかわらず男女総合優勝に貢献している。総合力で勝ち取った男女総合優勝といえる。

令和3年度 第59回島根県高等学校総合体育大会成績 (Aグループ)

男女総合			男子総合			女子総合		
1位	大社	195点	1位	浜田	92点	1位	松江南	115点
2位	松江南	189点	2位	大社	88点	2位	大社	107点
3位	松江北	158点	3位	松江工業	82点	3位	出雲	83点
4位	出雲	147点	3位	出雲北陵	82点	4位	松江商業	82点
5位	浜田	125点	5位	松江北	80点	5位	松江北	78点
6位	明誠	116点	6位	開星	79点	6位	明誠	68点



◆高体連会長より江角校長へ優勝旗授与(6月7日)



◆総合優勝賞状・優勝旗(4大会連続10回目)



◆女子陸上部 総合優勝(11大会連続29回目)



◆男子陸上部 総合優勝(6大会連続35回目)



◆空手道女子個人形で優勝した成相美来さん



◆女子体操部 団体優勝(2大会連続48回目)



◆女子剣道部 団体優勝(5大会連続27回目)



◆男子剣道部 団体優勝(17大会連続38回目)